

京都大学 1978年 入学試験 文系数学 問題6

問題

数0または1を $n$ 個並べて得られる数列

$$A = \{a_1, a_2, \dots, a_n\} \quad a_i = 0 \text{ または } 1$$

を考える. これに対して, 新しい数列

$$A' = \{a'_1, a'_2, \dots, a'_n\} \quad a'_i = 0 \text{ または } 1$$

を次のように定める:

$n$ 角形の頂点に,  $a_1, a_2, \dots, a_n$  をこの順に並べたとき,

$a_i$  の両隣が等しければ (すなわち  $a_{i-1} = a_{i+1}$  ならば),  $a'_i = 0$

$a_i$  の両隣が異なれば (すなわち  $a_{i-1} \neq a_{i+1}$  ならば),  $a'_i = 1$

と定める ( $i = 1, 2, \dots, n$ , ただし  $a_0 = a_n, a_{n+1} = a_1$  とみなす).

このとき,  $n \geq 3$  として,  $A = A'$  (すなわち  $a_i = a'_i, i = 1, 2, \dots, n$ ) となるような数列  $A$  をすべて求めよ.

解答

この数列  $A$  は直前二つの数が決まると後が全部決まるので  $a_1, a_2$  が決まるとすべてきまる。

また  $a_{n+1} = a_1$  なのでつまり

$a_1 = 0, a_2 = 0$  とすると

$a_2 = 0$  なので  $a_3 = a_1$  より  $a_3 = 0$

同様に

$a_k = 0, a_{k+1} = 0$  ならば  $a_{k+2} = 0$

よって数学的帰納法により  $a_i = 0$

つまり  $A = \{0, 0, 0, \dots, 0\} (n \geq 3 \text{ 個}) (n \text{ は整数})$

$a_1 = 0, a_2 = 1$  とすると

$a_2 = 1$  なので  $a_3 = 1$

$a_3 = 1$  なので  $a_4 = 0$

$a_4 = 0$  なので  $a_5 = 1$

$a_5 = 1$  なので  $a_6 = 1$

$k = 3l$  のとき 1

$k = 3l + 1$  のとき 0

$k = 3l + 2$  のとき 1

であれば  $a_{3l} = 1$  なので  $a_{3l+1} \neq a_{3l-1}$  なので  $a_{3l+1} = 0$

$a_{3l+1} = 0$  なので  $a_{3l} = a_{3l+2}$  なので  $a_{3l+2} = 1$

$a_{3l+2} = 1$  なので  $a_{3l+1} \neq a_{3l+3}$  なので  $a_{3l+3} = 1$

となり任意の  $l$  において成立する。

このとき  $a_1 = a_{n+1}$  より  $n + 1 = 3l + 1$  の場合成立するから

$A = \{0, 1, 1, 0, 1, 1, 0, 1, 1, \dots, 0, 1, 1\} (n = 3l \geq 3 \text{ 個}) (l \text{ は整数})$

$a_1 = 1, a_2 = 0$  の時

$a_2 = 0$  より  $a_3 = 1$

$a_3 = 1$  より  $a_4 = 1$

$a_4 = 1$  より  $a_5 = 0$

$$a_5 = 0 \text{ より } a_6 = 1$$

$$a_6 = 1 \text{ より } a_5 = 1$$

$$k = 3l \text{ のとき } 1$$

$$k = 3l + 1 \text{ のとき } 1$$

$$k = 3l + 2 \text{ のとき } 0$$

であれば  $a_{3l} = 1$  なので  $a_{3l+1} \neq a_{3l-1}$  なので  $a_{3l+1} = 1$

$a_{3l+1} = 1$  なので  $a_{3l} \neq a_{3l+2}$  なので  $a_{3l+2} = 0$

$a_{3l+2} = 0$  なので  $a_{3l+1} = a_{3l+3}$  なので  $a_{3l+3} = 1$

となり任意の  $l$  において成立する。

このとき  $a_1 = a_{n+1}$  より  $n + 1 = 3l + 1$  の場合成立するから

$$A = \{1, 0, 1, 1, 0, 1, 1, 0, 1, \dots, 1, 0, 1\} (n = 3l \geq 3 \text{ 個})(l \text{ は整数})$$

$$a_1 = 1, a_2 = 1 \text{ のとき}$$

同様に  $a_{3l} = 0$  なので  $a_{3l+1} = a_{3l-1}$  なので  $a_{3l+1} = 1$

$a_{3l+1} = 1$  なので  $a_{3l} \neq a_{3l+2}$  なので  $a_{3l+2} = 1$

$a_{3l+2} = 1$  なので  $a_{3l+1} = a_{3l+3}$  なので  $a_{3l+3} = 0$

となり任意の  $l$  において成立する。

このとき  $a_1 = a_{n+1}$  より  $n + 1 = 3l + 1$  の場合成立するから

$$A = \{1, 1, 0, 1, 1, 0, 1, 1, 0, \dots, 1, 1, 0\} (n = 3l \geq 3 \text{ 個})(l \text{ は整数})$$

以上の4種類に限る。

証明終了